



沼津市 自転車活用推進計画

〈概要版〉

2021-2030

Numazu City Bicycle Plan 2021-2030

沼津市自転車活用推進計画

計画概要 (第1、2章より)

● 計画策定の背景：

沼津市の特性や現状・課題、市民からの意見を踏まえ、関係機関や庁内での横断的な連携・取組みを効率的・効果的に進め、自転車施策を総合的に展開していくことを目的として、沼津市自転車活用推進計画を策定します。

● 計画の区域：沼津市全域 ーただし、地域の生活圏、観光圏を考慮し、広域的な施策にも取り組みます。

● 計画の期間：令和3年度(2021)～令和12年度(2030)の10年間 第5次沼津市総合計画の整合・連携を図るとともに、第11次沼津市交通

安全計画や第2次沼津市健康増進計画などの関連する計画等との連携を図りながら推進していきます。

基本方針 (第4章より)

「住みたいまち、行きたいまち。」 ～自転車利用環境の向上により、選ばれるまちへ～

自転車を取り巻く現状を把握し、課題を解決するため、関係機関などとの横断的な連携や取り組みを効率的・効果的に進め、自転車の活用を総合的に展開することで、自転車に対する安全性や利便性等、利用環境を向上させるとともに、市民が自転車をライフスタイルに組み込み、互いに理解し合える土壌をつくりあげることで、市民の生活の質と都市の価値を高め、選ばれるまちを目指します。

なお、本計画では自転車を公共交通と共存する移動手段として適切な連携を図ることとします。

現状・課題 (第3章より)

課題1:安全・安心

- 自転車関連事故の発生件数が周辺自治体と比較して多く、自転車通行空間の継続的な整備やルール・マナーの周知、安全教育が必要

課題2:都市環境

- 自動車への依存度が高く、中心市街地では交通渋滞が発生している
- 多様な移動手段の確保に向けた取組が必要
- 歩いて楽しいまちづくりと調和した自転車通行空間と駐輪場の適切な配置
- 利用状況に応じた駐輪場の確保維持が必要

課題3:健康・運動

- 市民の約8割が日頃の運動不足を感じている
- 県平均と比較し、男女ともに生活習慣病の発生リスクが高い

課題4:観光振興

- 地域資源の活用に向けた交通手段を選択できる環境づくりや、サイクルツーリズムにおける民間事業者等との連携、コンテンツの情報発信が必要

▽ 計画期間 令和3年度～令和12年度の10年間

年度	前期					後期					R13年度～(2031～)	
	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)	R9年度(2027)	R10年度(2028)	R11年度(2029)	R12年度(2030)		
関連計画												
第5次沼津市総合計画(令和3年3月策定)	～令和12年度											
沼津市自転車活用推進計画(令和3年3月策定)	令和3年度～令和12年度											

計画の推進体制について (第6章より)

行政機関、利用者、その他関係団体等がそれぞれの役割を認識し、相互に連携を深めながら自転車活用の推進に向けて取り組んでいきます。

実施主体	役割
沼津市自転車活用推進協議会	施策の実施状況や計画の目標に対して評価します。
行政(沼津市、静岡県等)	施策を実施するとともに、関係者間の連携や各施策間の調整を図ります。
利用者(市民、観光客等)	日常生活や観光・レジャーの中で、自転車を積極的に活用します。
その他関係団体(観光団体、商工団体、交通事業者等)	沼津市のまちづくりと一体となった取り組みが推進されるよう、まちづくり、観光、商工などの関係者間で連携を図ります。

プロジェクトと施策 (第5章より)

目標	プロジェクト	No	市計画における措置
目標1	I. 自転車通行空間整備推進プロジェクト	1	沼津市自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備
		2	自転車を利用しやすい環境の整備
		3	自転車通行空間の適正な維持管理
		4	自転車通行空間上の違法駐車取締りの推進
		5	ゾーン30や狭さく等による安全対策の実施
		6	無電柱化と合わせた自転車通行空間の整備
	II. 自転車安全利用促進プロジェクト	7	世代に応じた交通安全教室の開催
		8	自動車との共存に向けた相互理解の促進
		9	沼津市高校生自転車マナー向上委員会による自転車マナー啓発活動の推進
		10	自転車の走りやすさや安全性に関するマップの作成と発信
		11	市役所職員の自転車の交通に対するモラルの向上
		12	5月の自転車月間における自転車利用の啓発促進
		13	自転車点検実施の推進
		14	自転車ヘルメット着用の広報啓発
		15	自転車損害賠償保険の加入促進
目標2	III. 良好な都市環境の形成プロジェクト	16	自転車と公共交通の相互利用の利便性向上
		17	公共用地・民地・鉄道駅等へのシェアサイクルやレンタサイクルポートの設置検討
		18	駐輪場の運営管理及び放置禁止区域の見直し
	IV. ヒト中心のまちづくり連携プロジェクト	19	市民に対するエコ通勤の呼びかけや事業者における自転車通勤制度導入に向けた働きかけ
		20	市役所職員の近隣公務における公用自転車の利用促進
		20	5月の自転車月間における自転車利用の啓発促進 【再掲】
目標3	V. おでかけサイクリングプロジェクト	21	まちなか及び周辺地域資源を徒歩・自転車・公共交通で訪れてもらう取り組みの検討
		22	沼津市中心市街地まちづくり戦略と連動した自転車通行空間の検討と駐輪場の配置検討
		23	移動が楽しめる新たなモビリティツールの活用検討
目標4	VI. 魅力的なサイクリング、サイクルツーリズム創出プロジェクト	24	ぬまづ健康マイレージをツールとした自転車利用の促進
		25	市役所職員の率先した自転車通勤・自転車移動の促進
		26	自転車の魅力、楽しさ、健康効果の周知啓発およびイベント・講習会の実施
		27	地域の自転車クラブの創設促進
		28	5月の自転車月間における自転車利用の啓発促進 【再掲】
29	市民に対するエコ通勤の呼びかけや事業者における自転車通勤制度導入に向けた働きかけ 【再掲】		
目標4	VI. 魅力的なサイクリング、サイクルツーリズム創出プロジェクト	28	広域連携によるサイクルルートのブランド化の推進
		29	地域資源を活かした多彩なサイクルコース・観光プランの造成による誘客の促進
		30	サイクル拠点の整備促進
		31	官民連携によるサイクリスト受入環境の向上
		32	情報発信ツールの作成
		33	国内外への情報発信の強化
		33	沼津市自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備 【再掲】
		34	自転車を利用しやすい環境の整備 【再掲】
		35	5月の自転車月間における自転車利用の啓発促進 【再掲】
		36	自転車の魅力、楽しさ、健康効果の周知啓発およびイベント・講習会の実施 【再掲】

目標1 自転車利用環境の充実による安全性の確保

様々な場面で安全・快適に正しく自転車を利用できる自転車通行空間の整備を推進します。
また、歩行者・自転車利用者・自動車運転者が安全で快適に共存できるように、交通安全に関する教育等を実施し、お互いへの配慮ができるよう、自転車ルール・マナーの周知を徹底することで、安全性を確保します。

I. 自転車通行空間整備推進プロジェクト

- 沼津市自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備



■自転車道（国道414号）



■自転車専用通行帯（市道0246-3号線）

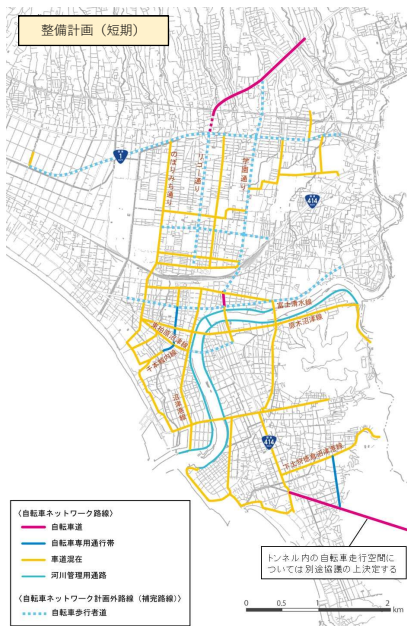


■車道混在（市道0107号線）



■自転車歩行者道（国道414号）

整備形態の例と沼津市自転車ネットワーク計画路線（市街地・短期）（出典：沼津市）



II. 自転車安全利用促進プロジェクト

- 世代に応じた交通安全教室の開催
- 自動車との共存に向けた相互理解の促進



小学校における交通安全教室の開催例（出典：沼津市）



自動車ドライバーに対する思いやり1.5m運動ステッカー配布の例（出典：伊豆観光圏活性化協会）

- 沼津市高校生自転車マナー向上委員会※による自転車マナー啓発活動の推進



※「沼津市高校生自転車マナー向上委員会」市内12の高等学校で構成され、一斉街頭指導及び啓発活動等の活動推進により、高校生のさらなる自転車マナー向上と交通事故防止を図る

沼津市高校生自転車マナー向上委員会の活動の様子（沼津市）

目標2 移動の利便性向上による過度な自動車への依存の低減

鉄道や路線バスなどの公共交通と連携した取り組みや、駐輪環境の充実などによる良好な都市環境の形成を行い、ヒト中心のまちづくりと連携することによって、移動の利便性向上を図り、過度な自動車への依存を低減させます。

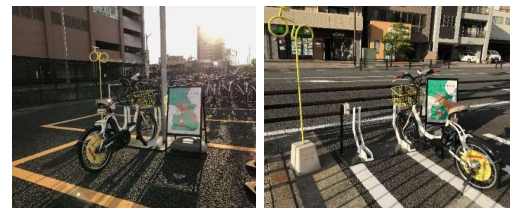
III. 良好な都市環境の形成プロジェクト

- 自転車と公共交通の相互利用の利便性向上



サイクル＆バスライド駐輪場の設置例（出典：茅ヶ崎市）

- 公共用地・民地・鉄道駅等へのシェアサイクルやレンタサイクルポートの設置検討



シェアサイクル（出典：ハレノヒサイクル）



IV. ヒト中心のまちづくり連携プロジェクト

- まちなか及び周辺地域資源を徒歩・自転車・公共交通で訪れてもらう取り組みの検討



シェアサイクルやEVバスでまちなか、周辺地域資源を回遊する例

駅舎西側より臨む沼津駅南口駅前広場（イメージ）

- 移動が楽しめる新たなモビリティツールの活用検討



● 沼津市中心市街地まちづくり戦略と連動した自転車通行空間の検討と駐輪場の配置検討

目標3 自転車の活用による健康の増進

日常生活の中で積極的に自転車を活用する機会の促進や、自転車で移動することによるメリットの周知および広報を行うことによって、自転車の魅力や健康効果を知るきっかけをつくり、自転車を活用することによる健康の増進を図ります。

V. おでかけサイクリングプロジェクト

● ぬまづ健康マイレージをツールとした自転車利用の促進

健康メニュー	メニュー項目(例)	ポイント数
こ(心・絆)	1日1回以上「ありがとうという」誰かの相談にのるボランティア活動をする	1
う(運動)	ながら運動(何かをしながらの運動)をする ラジオ体操をする ウォーキングをする 自転車通勤をする 監視を利用する	1
し(食事)	主食、主権、副菜をそろえた食事をとる 夜食を控える 毎食野菜を食べる よく噛んで食べる 緑茶を飲む	1
き(健康の基本)	検診を受ける(がん検診・特定検診・歯科検診・人間ドックなど) 予防接種を受ける 乳がんのセルフチェックをする 市・一律病院主催の運動教室・健康講座を受講する	3

ぬまづ健康マイレージのメニュー項目

● 自転車の魅力、楽しさ、健康効果の周知啓発およびイベント・講習会の実施



プロチームと連携した自転車教室の例
(出典：①②レバンテフジ静岡、③宇都宮ブリッヂ)

ぬまづ健康マイレージ

令和2年 令和3年
チャレンジ期間 6月1日(月)～2月26日(金)

A賞 健大グループ金券 (2,000円分) **10名**
特典1 達成者全員に「ふじのくに健康いきいきカード」プレゼント!
対象店舗で指定する様々なサービスが受けられる!
(対象店舗はチラシ参照)

B賞 農産物詰め合わせ (2,000円分相当) **5名**
特典2 さらに抽選で**総計32名**様に**5種の景品**が当たる!!

C賞 沼津干物詰め合わせ (2,000円分相当) **5名**

D賞 戸田特産物詰め合わせ (2,000円分相当) **10名**

E賞 沼まれる公園宿泊券 (2,000円分相当) **組2名**

ぬまづ健康マイレージ ポイントシート

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30

以下のアンケートにご回答をお願いします。お返事は必要ありません。
1. あなたの性別は? 2. あなたの年齢は? 3. あなたの職業は? 4. あなたの趣味は? 5. あなたの得意な食べ物は? 6. あなたの得意な飲み物は? 7. あなたの得意なスポーツは? 8. あなたの得意な季節は? 9. あなたの得意な場所は? 10. あなたの得意な時間は? 11. あなたの得意な音楽は? 12. あなたの得意な映画は? 13. あなたの得意なテレビ番組は? 14. あなたの得意な漫画は? 15. あなたの得意なゲームは? 16. あなたの得意な本は? 17. あなたの得意な雑誌は? 18. あなたの得意な雑誌は? 19. あなたの得意な雑誌は? 20. あなたの得意な雑誌は?

ぬまづ健康マイレージのリーフレット



● 地域の自転車クラブの創設促進



ふじのくにEASTサイクリストクラブ
出典：静岡県自転車活用推進計画

目標4 サイクルツーリズムの推進による交流人口の拡大

自転車をきっかけとして本市を訪れる方や自転車での観光に興味を持っている方に向けて、誰でも気軽にサイクリングを楽しめる仕掛けや受入環境づくり、コンテンツの発信を強化することで、サイクルツーリズムを推進し、交流人口を拡大します。

VI. 魅力的なサイクリング、サイクルツーリズム創出プロジェクト

● 広域連携によるサイクルートのブランド化の推進

伊豆半島 1周 サイクリング 2019

IZU-ICHI 1周 サイクリング 2019

2019. 10/26(土)・27(日)
Start & Goal MERIDA X BASE

スルガ銀行

IZU 伊豆の国

伊豆の大自然、挑むか、楽しむか。

「伊豆半島一周サイクリング」の取り組み例 (出典：(一社)美しい伊豆創造センター)

● 地域資源を活かした多彩なサイクルコース・観光プランの造成による誘客の促進

サイクリングツアー(散走)の例
(出典：国土交通省「第1回ナショナルサイクルート制度検討 小委員会配付資料2 国内におけるサイクルーツリズムの現状」)

● 官民連携によるサイクリスト受入環境の向上

資料：真庭市

● 情報発信ツールの作成 ● 情報発信の強化

サイクリングマップの例 (出典：沼津市)

民間ポータルサイトによる情報発信の例 (出典：TABIRIN)

BICYCLE PIT (バイクルビット) 設置例 (出典：沼津市)

自転車文化が醸成された将来イメージ（試案）（第4章より）

目標1:自転車利用環境の充実による安全性確保

目標2:移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

目標3:自転車の活用による健康の増進

目標4:サイクルツーリズムの推進による交流人口の拡大

各目標を達成するために実施する様々な施策の展開を図り、ライフスタイルとしての浸透・自転車文化の醸成へ

自転車を活用した
ライフスタイルの
浸透

自転車文化の醸成へ

自転車文化とは・・・

日常の移動の中で、自転車が交通手段のひとつとして利用され、まちに溶け込み、安全に安心して楽しく利用できること。加えて、自転車の活用について、多面的に理解されていること。

<平日の例>



<休日の例>



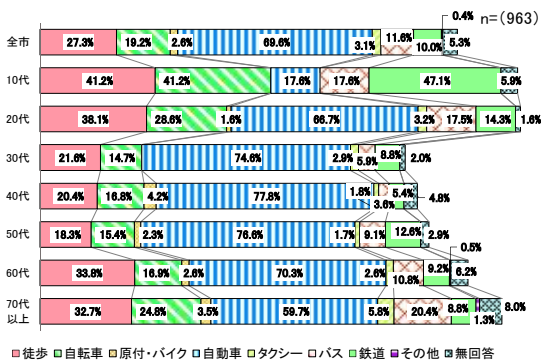
計画の達成状況の評価（第6章より）

自転車活用の推進に向け、計画を着実に遂行するため、以下の指標に沿って、進行管理を行います。

No	指標（●アウトカム、○アウトプット）※	単位	基準年	R7中間	R12最終
【目標1】自転車利用環境の充実による安全性の確保					
1	●市内の自転車事故発生件数	件/万人	[R1] 11.8	9.7	9.2
2	○自転車通行空間の整備延長	km	[R1] 43.0	60.4	71.1
3	○世代に応じた交通安全教室の回数	回/年	[R1] 368	370	370
4	○自転車に重点を置いた交通安全教室の回数	回/年	[R1] 1	5	5
【目標2】移動の利便性向上による過度な自動車への依存の低減					
●各交通手段の利用割合					
5	自動車	%	[R1] 69.6	72.2	69.6
	鉄道&バス	%	[R1] 21.6	24.3	27.0
	自転車	%	[R1] 19.2	25.6	32.0
6	○市内のサイクル&バスライド用駐輪場の延べ数	箇所	[R1] 1	6	11
【目標3】自転車の活用による健康の増進					
7	●健康増進のため自転車を利用する人の割合	%	[R2] 43.2	45	50
8	○自転車関連イベントの延べ実施回数	回数	[R1] 5	25	50
【目標4】サイクルツーリズムの推進による交流人口の拡大					
9	●サイクル拠点施設の年間利用者数	千人/年	[R1] 2.3	2.8	3.3
10	○サイクリングコース・観光プラン等の延べ造成数	コース	[R1] 0	10	20
11	○パートナー事業者数	カ所	[R1] 47	70	90
12	○サイクリング関連HP「ぬまづサイクリング」の年間閲覧数	千PV	[R1] 15	18	20.5

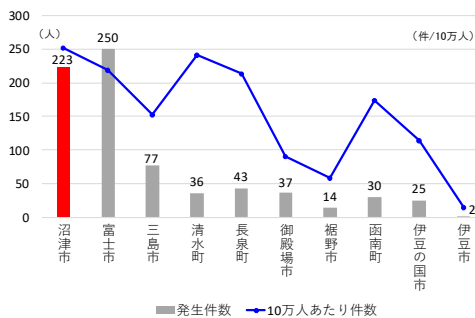
※●アウトカム……成果指標。施策の実施によりもたらされた成果。
○アウトプット……活動指標。実施した施策の結果。

◆ 平日の主な交通手段



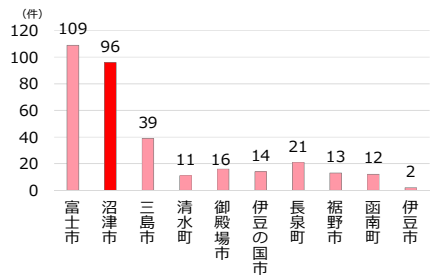
(出典：令和元年度 第46回市民意識調査報告書から作成)

◆ 他都市との人口あたりの自転車関連事故件数比較 (令和元年度)



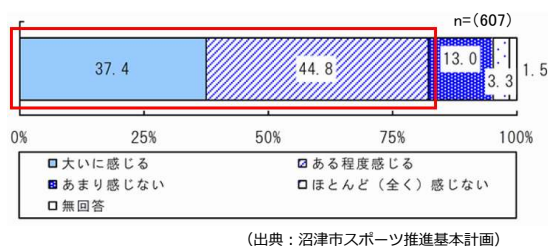
(出典：静岡県警交通年鑑から作成)

◆ 周辺自治体における高校生の交通事故比較 (令和元年度)



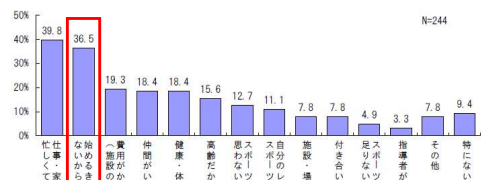
(出典：静岡県警交通年鑑から作成)

◆ 運動不足についての意識



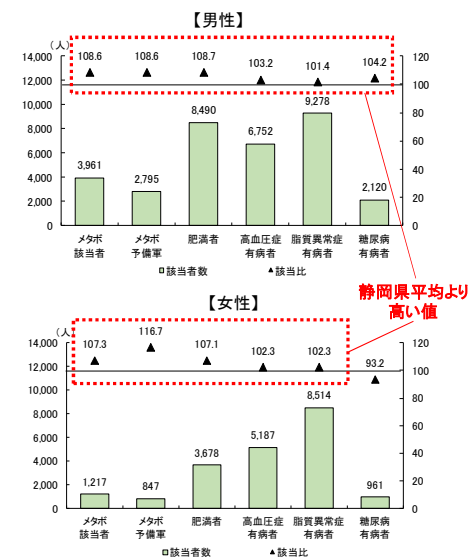
(出典：沼津市スポーツ推進基本計画)

◆ スポーツをしない理由



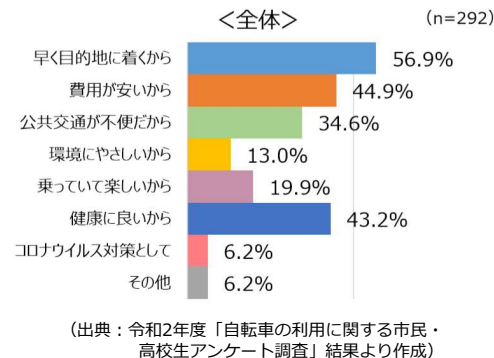
(出典：沼津市スポーツ推進基本計画)

◆ 特定健康診査 標準化該当比



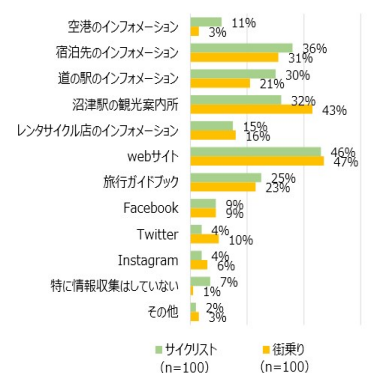
(出典：平成29年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書)

◆ 自転車を利用する理由



(出典：令和2年度「自転車の利用に関する市民・高校生アンケート調査」結果より作成)

◆ サイクリング情報の取得方法



(出典：令和2年度「自転車の利用に関する観光アンケート調査」結果より作成)

◆ レンタサイクル「ぬまクル」



(出典：国土数値情報、NUMAZU CYCLING HP)

◆ シェアサイクル「ハレノヒサイクル」



(出典：国土数値情報、ハレノヒサイクルHP)



沼津市都市計画部まちづくり政策課

〒410-8601 静岡県沼津市御幸町16番1号

TEL 055-934-4759

MAIL mati-seisaku@city.numazu.lg.jp